

答申における「基金の在り方の提言」の対応状況

【令和7年11月19日現在】

阿南市基金運用に関する第三者調査委員会からの提言内容	阿南市の対応策及び実施時期	具体的な進捗状況
1 阿南市での望ましい基金の債券運用について		
<p>(1) 基金運用についてのガバナンスについて</p> <p>「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」に従って、市長をトップに、基金運用検討会議をしっかりと活用しながら、組織的かつ適時・適切な運用を望むものである。</p> <p>今後も、基金運用に関するガバナンスを見直し、権限と責任を明確化したうえで、迅速かつ実効性のある意思決定体制をさらに充実させることが望まれる。</p>	<p>① 引き続き、令和7年4月1日に施行した「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」に基づき、令和7年4月に設置した「基金運用検討会議」の活用を通じて組織的かつ適切な基金運用を推進する。</p> <p>実施時期：令和7年度中に改正予定</p>	<p>① 令和7年4月16日に第1回基金運用検討会議を、令和7年8月8日に第2回基金運用検討会議を開催し、令和7年度における阿南市基金一括運用対象基金の運用方針を決定しました。</p> <p>また、決定した運用方針に加え、令和7年度阿南市基金一括運用対象基金の運用計画及び残高見込についての資料を阿南市ホームページで公表しています。</p>
	<p>② 「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」の改正により、ガバナンスのさらなる見直しを図る。</p> <p>ア 基金運用方針の策定主体を会計課から財政課へ移管する。</p> <p>イ 債券管理台帳の見直し(決裁関係課の追記等)を行う。</p> <p>実施時期：令和7年度中に改正予定</p>	<p>②</p> <p>ア 基金運用方針の策定主体を会計課から財政課へ移管するにあたり、財政課及び会計課の役割をより明確化するため、要綱改正案を作成しました。今年度中に「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」の改正をし、令和8年4月の施行を予定しています。</p> <p>イ 債券の購入及び売却に関する事務マニュアルを作成し、その手続きの具現化を図りました。また、債券管理台帳の様式を見直し、市長、副市長及び財政課の取得、償還・売却に係る確認欄を加える改正を行うことで、ガバナンスを強化します。</p>
	<p>③ 関係法令(会計規則・事務決裁規程等)の改正による権限と責任の明確化及び意思決定体制の</p>	<p>③ 「会計規則」及び「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」を改正し、会</p>

答申における「基金の在り方の提言」の対応状況

		<p>充実を検討する。 実施時期：令和7年度中に改正予定</p>	<p style="text-align: right;">【令和7年11月19日現在】</p> <p>計事務全体の権限と責任の明確化及び意思決定体制の充実を図り、ガバナンスを強化します。</p> <p>【会計規則】</p> <p>基金に属する現金の収入、支出等の準用規定に係る事務の権限を明確化することに加え、会計事務に関する用語をより適切なものに改正します。</p> <p>【阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱】</p> <p>基金運用方針の策定主体や債券の購入及び売却事務の実施主体を会計課から財政課に改めるほか、債券管理台帳(様式3号)などの様式を改正します。</p>
<p>(2)</p>	<p>担当者及び関係者の人材確保及び育成について専門的な研修を継続的に実施し、基金運用に携わる専門人材の確保と育成にも積極的に取り組むよう努められたい。</p>	<p>① 国・県等が実施する研修機会を活用し、財政課及び会計課職員等の研修受講を進める。 実施時期：令和7年度～順次実施</p>	<p>① 研修の受講状況は次のとおりです。</p> <p>【財政課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体金融機構 e ラーニング 延べ 30 人 13 講座を受講中 ・財務事務研修(自治研修センター) 2名(web 受講) 受講済 <p>【会計課】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体金融機構 e ラーニング 延べ 11 人 5 講座を受講中 ・徳島県公金管理担当者等研修 4 名(オンライン) 受講

答申における「基金の在り方の提言」の対応状況

【令和7年11月19日現在】

		<p>② 財政及び会計部門における経験者配置をはじめ適材適所の人事配置と、より一層の体制充実を図る。 実施時期:令和7年4月～実施中</p> <p>③ 公金の管理運用に関する書類の購入及び地方財務に関する最新情報の収集などを通じ、専門人材の育成に努める。 実施時期:令和7年度～順次実施</p>	<p>② 令和7年度は、財政及び会計部門に経験者を配置し、適材適所の人事配置を実施しています。引き続き体制の充実を図ってまいります。</p> <p>③ 「月刊地方財務」や「月刊地方財政」などの専門誌を活用し、有益な情報を共有する取組を進めています。これを通じ、最新の地方財務に関する情報を収集し、専門人材の育成に注力しています。</p>
(3)	<p>市民への説明責任について 市民への説明責任を果たすために、基金の債券運用・その他基金の動向に関する情報公開や情報提供の在り方について検討を進められたい。</p>	<p>① 「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」の中への「情報公表の項目の追加」をはじめ、基金運用に関する市民への説明責任の徹底を図る。 実施時期:令和7年度中に実施予定</p> <p>② 基金運用状況について、ホームページの公表回数を増やすとともに、公表内容の充実を図る。 実施時期:令和7年度中に実施予定</p>	<p>①② 基金運用検討会議を2回実施し、その会議資料については、既にホームページで公表しています。 また、「財政情報の公開(財政課)」から「阿南市基金一括運用対象基金運用方針」へのリンクを設定しました。 さらに、市民への説明責任を徹底するため、「阿南市基金の一括運用及び債券の購入管理に関する要綱」に情報公表の項目を追加する改正を進めています。</p>
2 今後の財政運営の在り方について			
(1)	<p>今後とも、議会の議論や監査委員の意見を真摯に受け止め、他の地方公共団体の動向等を注視し、取り入れるべきものは取り入れる。</p>	<p>① 提言に従って、真摯な姿勢で積極的に取り入れる。 実施時期:令和7年度中～実施中</p> <p>② 市としてアンテナを高くし、必要な情報収集に努める。</p>	<p>① 阿南市基金に関する答申対応チームを毎月開催し、提言への対応策の検討及び進捗状況の確認を行っています。</p> <p>② 他の自治体における財政運営の在り方についてアンケート調査を実施しました。今後も、他の</p>

答申における「基金の在り方の提言」の対応状況

【令和7年11月19日現在】

		実施時期:令和7年度中～実施中	自治体等へのアンケート調査をはじめ、必要な情報の収集を行ってまいります。
(2)	<p>新行財政改革推進プランの推進 市長のリーダーシップのもと、組織をあげて『阿南市「新行財政改革」推進プラン 2025▶2028』を着実に実行していく必要がある。</p>	<p>① 提言に従い、より一層、市を挙げて「新改革プラン」を推進する。 実施時期:令和7年度中～実施中</p>	<p>① 令和7年度に新たに立ち上げた若手職員を中心とする行財政改革プロジェクトチームからの意見や提案をプランに反映させながら、市を挙げて「新改革プラン」を推進しています。</p>
		<p>② 「新改革プラン」の進捗状況を適時適切に市議会や市民に報告する。 実施時期:令和7年度中～実施中</p>	<p>② 阿南市行財政改革懇話会を令和7年度は7月と12月(予定)に開催し、「新改革プラン」の進捗状況について報告し、評価を求めるとともに、適宜、市議会への報告及び市民への公表を行います。</p>